

特集 命を守る防災教育
～みんなで防災意識を高めよう～ P.2-3

2016年
和歌山の中学生・高校生のきらめき! P.4-5

共育コミュニティは今[VOL.20]
かつらぎ町 P.6

きのくに教育めぐり 橋本市 P.7

教育長エッセイ P.8

輝く! 紀の国の教育

Wakayama Prefecture
education public relations paper

特集

命を守る防災教育 みんなで防災意識を高めよう



廣八幡神社に向かったの避難訓練(広川町立広小学校)

平成27年(2015年)12月の国連総会で、11月5日が「世界津波の日」として定められました。

11月5日は、江戸時代後期、安政南海地震による津波が和歌山県をおそった際に、稲の束に火をつけ村人を救った、濱口梧陵の「稲むらの火」の故事にちなんでいます。

この日にあわせて、津波防災の啓発活動が世界的に展開され、津波による犠牲者がなくなることが期待されています。



津波避難3原則

津波警報が発表されたら、迅速に高台など安全な避難場所へ避難しましょう!!

津波避難 3 原則

- ① 想定にとらわれない
- ② 最善を尽くせ
- ③ 率先避難者になれ



片田敬孝 群馬大学大学院 教授 監修

津波てんでんこ

「津波てんでんこ」とは、三陸地方に言い伝えられている言葉であり、「てんでんこ」とは、てんでばらばらにという意味です。「津波の時は、まず自分の命を守ることを考えててんでんばらばらに必死に逃げる」と、そうすることで全員が助かる」という意味合いをもっています。

家族一人一人が、きちんと避難するという確信をもてるよう、家族で話し合っておきましょう。

特集

みんなので防災意識を高めよう！ 命を守る防災教育

災害への備えは大丈夫ですか？

地震や津波などの自然災害は、いつやってくるかわかりません。災害が発生した時慌てないように、「防災について話し合う」「非常袋を用意する」「避難経路を確認する」など、日頃から防災意識を高め、災害に備えておきましょう。



「世界津波の日」リーフレット

11月5日が「世界津波の日」として制定されたことを受け、防災意識のさらなる向上のため「世界津波の日」リーフレットを作成し、県内すべての児童生徒に配付しました。「世界津波の日」の意義やその由来となった「稲むらの火」の故事、津波発生時の行動などを掲載しています。各学校において防災学習や避難訓練の事前事後学習等で活用しています。

確実に逃げ、生き抜くために

自分の命を自分の努力によって守る「自助」

○沿岸地域児童生徒・住民合同津波避難訓練

「世界津波の日」の11月5日、「稲むらの火」にゆかりのある広川町では、率先避難者を育成するために、沿岸地域児童生徒・住民合同による津波避難訓練が実施されました。訓練では、濱口梧陵の教訓を胸に刻み、約160年前、村人たちに逃げるよう呼びかけた廣八幡神社に向かって避難しました。



廣八幡神社に向かった避難訓練



電車からの避難誘導訓練

地域防災リーダーの育成

身近な人たちがお互いを助け合う「共助」

○高校生防災スクール

防災への意識を高め、地震や津波などの自然災害に備えるとともに、地域防災の担い手として社会貢献できる青少年の育成が求められています。このため、関係機関や地域の連携・協力のもと、防災・減災に関する専門的な知識や技術を習得する防災スクールをすべての県立学校で実施し、地域防災リーダーの育成を図っています。



搬送法の研修



段ボールによるパーティション組立

防災は世界共通の課題

「世界津波の日」高校生サミットin黒潮



サミットにて

11月25・26日、海外29か国と国内から約360人(海外約250人、国内約110人)の高校生が高知県黒潮町に集まり、津波防災について討議する「世界津波の日」高校生サミットin黒潮」

が開催され、本県からも日高高校の生徒が参加しました。高校生サミットでは、津波被害の実態や災害への備えについての意見交換、津波防災や復興などに関する分科会、高台への避難訓練などが行われました。サミット開催に先立つ11月23日には、参加する海外の高校生のうち16か国約130人が来県し、本県の高校生と交流しました。24日には、耐久高校の生徒との交流や「稲むらの火の館」の見学、フィールドワークなどを行いました。



広村堤防にて



「稲むらの火の館」にて

ふるさと和歌山の先人から学ぼう！

○濱口梧陵の偉業を伝える「稲むらの火の館」

広川町には、濱口梧陵記念館と津波防災教育センターの2施設からなる「稲むらの火の館」があります。ここでは、濱口梧陵の偉大な功績やその生涯を紹介するとともに、津波について学習することができます。



先人たちが残してくれた「災害の記憶」を未来に伝える

一命と文化遺産とを守るために



地震や津波などの自然災害から自らの命と財産(文化遺産を含む)を守るために、過去に和歌山県内で起こった災害を人々に伝え、被害が予想される地域に残る文化遺産を把握しておくことが大切です。冊子「災害の記憶」を未来に伝える」は、地域別に過去の災害を取り上げ、関係市町村内の各世帯に配付されています。これまでに、[御坊市・美浜町・日高川町・那智勝浦町]と[すさみ町・串本町・太地町]が発刊され、次号の[由良町・印南町]は、平成29年1月に発刊される予定です。

和歌山県立博物館 検索



2016年 和歌山の中学生・高校生のきらめき!

インターハイ・国体・全国高等学校総合文化祭などで、輝かしい成績(1~3位など上位入賞)をおさめた方々を紹介します。(掲載した他にも多数の方が入賞しています)



2016 情熱疾走 中国総体(インターハイ)

陸上競技	女子やり投	長 麻尋	県立和歌山北高等学校	1位
水泳(競泳)	女子50m自由形	住岡 叶夢	県立和歌山北高等学校	3位
ソフトテニス	女子団体	和歌山信愛高等学校		2位
	女子個人	貝瀬かのこ	和歌山信愛高等学校	3位
相撲	男子団体	県立箕島高等学校		3位
柔道	男子60kg級	徳本 千大	初芝橋本高等学校	2位
剣道	女子個人	松本 泉帆	県立和歌山東高等学校	3位
レスリング	男子74kg級	三輪 優翔	県立和歌山北高等学校	1位
	女子56kg級	松下 京加	県立和歌山北高等学校	3位
自転車競技	女子500mTT	中本 真弥	県立和歌山北高等学校	2位
フェンシング	女子団体	県立和歌山北高等学校		1位
	女子フルーレ	東 莉央	県立和歌山北高等学校	1位
	女子フルーレ	東 晟良	県立和歌山北高等学校	2位
少林寺拳法	男子団体演武	県立神島高等学校		2位

平成28年度 全国中学校体育大会

陸上競技	女子四種競技	松本 万鈴	和歌山市立高積中学校	2位
水泳	女子50m自由形	土井 香凛	和歌山市立紀伊中学校	2位
体操	男子団体	田辺市立明洋中学校		2位
相撲	男子個人	花田 秀虎	和歌山市立西和中学校	2位

2016希望郷いわて国体

陸上競技	少年女子共通やり投	長 麻尋	県立和歌山北高等学校	2位
水泳(競泳)	少年女子A50m自由形	住岡 叶夢	県立和歌山北高等学校	1位
	少年女子B50m自由形	土井 香凛	和歌山市立紀伊中学校	3位
レスリング	少年男子74kg級	三輪 優翔	県立和歌山北高等学校	1位
セーリング	少年女子レーザーラジアル級	赤松 里彩	県立桐蔭高等学校	2位
フェンシング	少年男子フルーレ	松村 侑馬	県立和歌山北高等学校	3位
		田中 啓暉	県立向陽高等学校	
	少年女子フルーレ	井神 俊兵	県立和歌山北高等学校	1位
		東 莉央	県立和歌山北高等学校	
ライフル射撃	少年女子BRS40JW	町田 莉子	県立和歌山商業高等学校	3位
	少年女子BRS20JW	町田 莉子	県立和歌山商業高等学校	3位
ボウリング	少年男子個人戦	上村 弥奨	近畿大学附属新宮高等学校	2位

2016希望郷いわて大会

陸上競技	100m	黒川 真菜	県立和歌山盲学校高等部	2位	
	1500m			3位	
	ソフトボール投	榎本 由香	県立和歌山盲学校高等部	1位	
	砲丸投			2位	
	走高跳	落合 隆也	県立和歌山ろう学校高等部	2位	
	砲丸投	瀧口 希	県立和歌山ろう学校中学部	3位	
	1500m	下村 侑未	県立和歌山ろう学校高等部	3位	
	100m	中屋 武留	和歌山大学教育学部 附属特別支援学校高等部	1位	
	200m			2位	
	4x100mリレー			3位	
水泳	100m	塩崎 啓明	県立はまゆう支援学校高等部	3位	
	200m			2位	
	100m	和田 明日香	県立紀北支援学校高等部	3位	
	200m			2位	
	4x100mリレー	中江 智也	和歌山大学教育学部 附属特別支援学校高等部	3位	
	ソフトボール投	山口 香奈美	県立さくら支援学校高等部	2位	
	25m自由形	豊田 成吾	県立紀北支援学校高等部	3位	
	卓球	一般卓球	原代 采奈	県立和歌山ろう学校高等部専攻科	1位
		一般卓球	土屋 光規	県立はまゆう支援学校高等部	2位
	フラインクディスク	ディスタンスメンズ スタンディング	奥山 礼都	県立はまゆう支援学校高等部	2位

第53回 全国聾学校陸上競技大会(富山県)

陸上競技	走り幅跳び	塚 賢仁	県立和歌山ろう学校高等部専攻科	1位
	200m			3位
	走り幅跳び	落合 隆也	県立和歌山ろう学校高等部	3位
	400m	中野 友斗	県立和歌山ろう学校高等部専攻科	2位

第53回 全国聾学校卓球大会(島根県)

卓球	女子シングルス	原代 采奈	県立和歌山ろう学校高等部専攻科	1位
	女子シングルス	岡本 桃加	県立和歌山ろう学校高等部専攻科	3位

2016世界ジュニア・カデフェンシング選手権大会(フランス)

フェンシング	カデ女子フルーレ個人	東 晟良	県立和歌山北高等学校	2位
--------	------------	------	------------	----

2016世界カデット選手権大会(ジョージア)

レスリング	フリースタイル46kg級	田中 開偉	県立和歌山北高等学校	5位
-------	--------------	-------	------------	----

第17回アジアジュニア陸上競技選手権大会(ベトナム)

陸上競技	女子やり投	長 麻尋	県立和歌山北高等学校	5位
------	-------	------	------------	----

2016アジア・カデット選手権大会(台湾)

レスリング	フリースタイル76kg級	辻 大成	県立和歌山北高等学校	2位
	グレコ・マンスタイル69kg級	辻 開成	県立和歌山北高等学校	3位

第39回 全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会(東京都)

水泳	チャンピオンシップ 女子50m自由形	住岡 叶夢	県立和歌山北高等学校	1位
----	-----------------------	-------	------------	----

2016JOC杯全日本ジュニアレスリング選手権大会(神奈川県)

レスリング	フリースタイル46kg級	田中 開偉	県立和歌山北高等学校	1位
	フリースタイル76kg級	辻 大成	県立和歌山北高等学校	2位
	グレコ・マンスタイル69kg級	辻 開成	県立和歌山北高等学校	2位
	グレコ・マンスタイル54kg級	岡本 隼人	県立和歌山北高等学校	2位
	フリースタイル69kg級	内田 貴斗	県立和歌山北高等学校	3位

全国高校生グレコ・マンスタイルレスリング選手権大会(大阪府)

レスリング	男子74kg級	三輪 優翔	県立和歌山北高等学校	3位
	男子84kg級	辻 大成	県立和歌山北高等学校	3位

ハイスchoolジャパンカップ2016(北海道)

ソフトテニス	個人(シングル)	貝瀬ほのか	和歌山信愛高等学校	1位
--------	----------	-------	-----------	----

全日本女子選抜ソフトテニス大会(東京都)

ソフトテニス	個人(シングル)	貝瀬ほのか	和歌山信愛高等学校	1位
--------	----------	-------	-----------	----

全国高等学校相撲選抜大会(高知県)

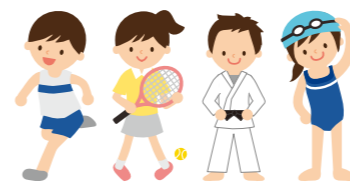
相撲	個人	菅野 陽太	県立箕島高等学校	1位
----	----	-------	----------	----

第100回記念高等学校相撲金沢大会(石川県)

相撲	個人	菅野 陽太	県立箕島高等学校	1位
----	----	-------	----------	----

第11回全日本女子オープンレスリング選手権大会(静岡県)

レスリング	56kg級	松下 京加	県立和歌山北高等学校	2位
-------	-------	-------	------------	----



2016ひろしま総文(第40回全国高等学校総合文化祭)

将棋	男子個人戦	坂本 拓己	県立桐蔭高等学校	準優勝(文化庁長官賞)
日本音楽	県立橋本高等学校			優良賞
写真	通阪 菜緒	県立星林高等学校		優秀賞
演劇	県立串本古座高等学校			優良賞
放送	オーディオビジュアル部門	県立那賀高等学校		優秀賞

第13回全国高等学校ARDF競技大会(新潟県) ARDF:無線技術を使ったオリエンテーリング

144MHz帯競技 M19クラス	団体	県立紀北工業高等学校	1位
	個人	西谷 裕太	県立紀北工業高等学校

日本生物学オリンピック2016(茨城県)

工藤 達実	県立向陽高等学校	3位(筑波大学長賞)
-------	----------	------------

第30回全国パソコン技能競技大会(愛知県)

日本 ワープロ 競	団体の部	県立那賀高等学校	1位(文部科学大臣賞)	
		荒木 大志	県立那賀高等学校	1位(文部科学大臣賞)
	個人の部	恩地 駿	県立那賀高等学校	2位
		山本 麻由	県立那賀高等学校	3位
		古田 彩乃	県立那賀高等学校	3位

2016全日本ARDF競技大会(新潟県)

144MHz帯競技 高等学校対抗部門	団体	県立紀北工業高等学校	2位
-----------------------	----	------------	----

FIA ALTERNATIVE ENERGIES CUP ソーラーカーレース鈴鹿2016年(三重県)

チャレンジクラス	団体	県立紀北工業高等学校	1位
----------	----	------------	----

全日本写真展2016

高校生	部の部	岡畑 美乃里	県立神島高等学校	金賞
-----	-----	--------	----------	----

第5回ご当地!絶品うまいもん甲子園(東京都)

開発商品 「紀州うめどりの親子バーガー ~カリカリ梅のタルタルソースを添えて~」	松下彩夏、 岩崎美子、 小池つぎう	県立神島高等学校	優勝 (農林水産大臣賞)
--	-------------------------	----------	-----------------



スポーツで 地域を元気に!

第12期 特定非営利活動法人下津スポーツクラブ

住民の住民による住民のための
「総合型地域スポーツクラブ」をめざして

当クラブは、海南市下津町を活動拠点とし、5歳から70歳代まで幅広い年齢層の
会員がスポーツを楽しんでいます。

以前から、学校卒業と同時にスポーツ少年団やクラブから離れ、スポーツ活動が途
切れてしまう子供たちがいることが残念でなりませんでした。

「子供たちにとって勉強もスポーツも大切!」という考えのもと、誰もが気軽に参加できるクラブを目指し、定期スポーツ教室12種目と年間10回程度のスポーツイベントを開催しています。

皆さんも身体を動かしたいと思ったら、是非近くの総合型
地域スポーツクラブへ入ってスポーツを楽しんでみませんか!



トランポリンを楽しむ「キッズ運動教室」



イベント「ジュニアソフトテニス大会」

止まれ



守ろう! 交通ルール!

自転車安全運転街頭指導を実施しています。



毎月1日と15日、県内一斉に自転車安全運転街頭指導を実施しています。
学校と保護者、警察、地域の方々が協力して行っているこの取り組みは、皆さんの
かけがえのない命を守る活動です。

本年度(平成28年10月現在)県内では2,425件の交通事故が発生し、30名が亡
くなられており、この中には、子供の死亡事故も含まれています。

自転車による交通事故の加害者や被害者にならないよう交通ルールを守り、一
人一人が安全運転を心がけましょう!



絶対ダメ

- 「横にならんでの運転」
- 「携帯電話や音楽プレーヤー
などを使用しながらの運転」
- 「雨の日の傘差し運転」

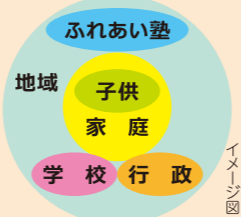
共育コミュニティ 学校・家庭・地域のさまざまな立場の大人が、子供たちの豊かな育ちを支え、同時に大人同士も育ち合う取り組みです。

テーマ「子供も大人も共に育ち、育て合う」

今回は、かつらぎ町教育委員会での「子どもの居場所づくり」を紹介します。

「子どもの居場所づくり」「ふれあい塾」について

かつらぎ町では、今年度から県の「子どもの居場所づくり推進事業」を受け、学校から帰っても、一人で過ごさなければならない子供、塾や習い事に行っていない子供、笠田中学校区内の小学1～6年生の子供を対象に、「ふれあい塾」を開設しました。
 <日時:場所>毎週 水曜日 15:00～17:00 笠田東児童館 2F会議室



組織的な特徴

「子どもの居場所づくり」を「ふれあい塾」にすべて任せるのではなく、「ふれあい塾」(指導員6人)・行政(教育長・主管課担当者3名・児童厚生員・家庭相談員)・学校(校長・教頭・それぞれの子供の担任)の三者が定期的に会を持ち、子供たちへの支援のあり方について相談しながら進めています。

学習の特徴

- 自己肯定感を大切にしています。
 - ・宿題の支援(「宿題をやったよ。」という達成感)
 - ・手作りの日本地図パズルの活用(「それぞれの都道府県の形や場所は、誰よりもよく知ってるよ。」という自信)
- ・手作りカードを活用した簡単な英会話の練習(「自分たちは、英会話も習ってるんだ。」という充実感)
- ・つまづいているところまで戻って行う学習(九九、十までの数の合成分解、各学年の漢字カードなど手作り教材の活用)



○それぞれの子供の基礎学力の到達度を記す個人ファイルを作成しています。

○家庭への連絡帳を持たせています。(学習した内容・気になったことを連絡しています。)



今後について

初めは緊張していた子供たちも、今では「ただいま～。」と部屋に入り、「今日はねえ。」と学校であった出来事を話し始めます。『ふれあい塾』の名の通り、地域(指導員)の方々とのふれあいを通して、これからも、子供たちの『あったか～い居場所』であるように関係者一同努めていきたいです。

週1回ではありますが、その1回が子供たちの貴重な学びの1回となっています。「ふれあい塾」で完成した宿題は自信をもって提出しています。(小学校担任)

・集中して勉強する時間が増えたね。
 ・恥ずかしながら前に出て発表できるようになったね。
 ・字を丁寧に書くようになってきたね。(各指導員)

ふれあい塾のある日は前夜からランドセルを準備し、玄関に置いています。(母親)

きのくに 教育めぐり

教育長挨拶

今回は

橋本市教育委員会



橋本市は、人口約64,500人、和歌山県の北東部に位置し、北は大阪府河内長野市、東は奈良県五條市に隣接しています。

かつては、高野街道と伊勢街道の交差する交通の要衝として栄え、現在は、柿や鶏卵、マッシュルームなどの生産が盛んで、高い技術力を誇る竹製のへら竿やパイル織物にも高い評価を得ており、企業誘致にも熱心に取り組んでいます。

本市では、昨年より新教育委員会制度となり、「人が学びあい、ともに育むまちづくり—自立と共生のまち橋本市—」を理念とした教育大綱を策定し「豊かな心を育みます」「多様な学びと健やかな体を育みます」「地域・家庭・学校の連携を育みます」を重点目標にして、共育コミュニティを中心とした地域ぐるみの「学び」に向けた取り組みを進めています。

橋本市教育委員会 教育長 小林 俊治



『いのちを育む授業』

市内全小学校4年生・中学校3年生を対象として『いのちを育む授業』を実施しています。少子化が進む中、子育てをめぐる課題は多々ありますが、橋本市に住むすべての子供たちが

が望まれて生まれ、安心して育つまちづくりをめざし、行政・地域・学校が連携して取り組んでいるのが特徴です。

小学校では、保護者参加を促し、妊娠・出産のエピソードを通じて、自己肯定感の大切さを伝えていきます。中学校では、保護者参加はなく、上記内容に加えて、「いのちを丸ごと引き受ける責任」について説明しています。どちらの授業も、今すぐ成果が表れるものではありませんが、子供たちの幸せな未来に少しでも役立てられることをめざしています。

前畑秀子NHK朝ドラ誘致活動

日本女性初のオリンピック金メダリスト・前畑(兵藤)秀子さんは、橋本市出身で、女性が社会進出した黎明期のシンボルであり、水泳一筋の人生を歩まれました。橋本市教育委員会・橋本市・前畑秀子朝ドラ誘致実行委員会は、前畑さんの生涯をNHK朝の連続テレビ小説(通称:朝ドラ)で取り上げてもらい、2020年東京オリンピック・パラリンピックを盛り立てようと、前畑ゆかりの名古屋市・岐阜市、日本水泳連盟、椋山女学園などと連携しながら朝ドラ誘致活動に努めています。ホームページ(maehatahideko.com)からも朝ドラ誘致署名ができますので、ご協力をお願いします。



展示イベント

いずれも、休館日は月曜日(祝日の場合は翌平日)です。
 ※県立近代美術館、県立博物館、県立紀伊風土記の丘、県立自然博物館は、入館料が必要な施設ですが高校生以下は無料です。
 ※年末年始の休館日等、詳しくは各館のホームページをご覧ください。

県立近代美術館

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8690



フィンセント・ファン・ゴッホ《雪原で薪を集める人びと》1884年吉野石膏株式会社蔵(山形美術館に寄託)

特別展「動き出す!絵画—モネ、ゴッホ、ピカソらと大正の若き洋画家たち—」

会期 11月19日(土)～1月15日(日)

和歌山にすごい絵がいっぱいやってくる! 大正時代、西洋の新しい美術を学んだ若い洋画家たちは、自らの表現によって時代を動かそうとしました。その背後にいたのは、知られざる支援者、北山清太郎です。和歌山出身の北山は、雑誌出版や展覧会開催によって、西洋美術熱に湧く若者を支えます。本展では彼らが憧れたモネやルノワール、ゴッホ、ピカソら西洋美術の名品と彼ら自身の表現を、全国約80ヶ所から集めた約170点の作品と約100点の資料で紹介いたします。

県立博物館

和歌山市吹上1-4-14 ☎073-436-8670

企画展 和歌浦・屏風・名所

会期 平成28年12月3日(土)～平成29年1月15日(日)



「和歌浦図屏風(館蔵)」

和歌浦は、万葉の時代から日本を代表する景勝地として知られ、江戸時代には日本三景と肩をならべるような名所でした。そのため和歌浦は、名所絵や真景図といった絵画作品として表現されることも多くありました。この企画展では、江戸時代の和歌浦の風景を描いた屏風の作品を中心に展示します。

県立紀伊風土記の丘

和歌山市岩橋1411 ☎073-471-6123

ミニ展「ジュニア考古学研究応募作品展」

会期 12月23日(金・祝)～1月9日(月・祝)



県内の小・中学生が取り組んだ考古学や歴史に関する研究作品を展示します。遺跡に出かけたり、資料を調べたりした見事な作品をご覧ください。

県立自然博物館

海南市船尾370-1 ☎073-483-1777

企画展 教授を魅了した大地の結晶北川隆司コレクション200選

会期 平成29年1月14日(土)～2月28日(火)

場所 自然博物館レクチャールーム



鉱物専門家の元広島大学教授北川隆司氏が収集した世界の鉱物標本を展示します。様々な色や形など、大地が産んだ不思議な造形をお楽しみください。

県立図書館

和歌山市西高松1-7-38 ☎073-436-9500

児童室展示「冬の本」

会期 12月27日(火)～1月20日(金) 内容 冬に関する児童書の展示・貸出



和歌山県警音楽隊クリスマスコンサート

日時 12月24日(土)18:00～19:30
 場所 県立図書館2階メディア・アート・ホール
 内容 クリスマスソングを中心とした吹奏楽による演奏会



教育長 エッセイ

教育長 宮下 和己

World Tsunami Awareness Day

「津波」の「津」は、「船着き場」、「港」の意味があって和歌山でも地名で使われているところがたくさんあります。そして今、「Tsunami(津波)」は、国際語となっています。ある調べによると、そのきっかけとなったのは1946年(昭和21年)のアラスカ付近アリューシャン列島で起きた地震により、ハワイ島まで津波が押し寄せ、日系人の方々が「Tsunami」と呼んだのが新聞の記事になったことで、1949年には、ハワイに太平洋津波警報センター(Pacific Tsunami Warning Center)

が設立されるなど、次第に一般化されていったそうです。

今や「Tsunami」は世界各国で使われており、第70回国連総会本会議(平成27年12月22日)で、11月5日が「世界津波の日(World Tsunami Awareness Day)」として定められました。日本をはじめ142か国が共に提案したもので、この決議により、津波の脅威について関心が高まり、その対策が進むことが期待されています。

さて、11月5日を指定することは、濱口梧陵の「稲むらの火」の故事にちなんでいます。濱口梧陵のことは、文部科学省の道徳副読本「私たちの道徳(中学校)」や本県独自に作成した道徳の教科書というべき「希望へのかけはし」で取り上げられています。梧陵の言葉に「住民百世の安堵を図る」というのがあります。愛する故郷が津波で大きな被害を受けた後、村人の安全と幸福を永久に守る

よう、堤防を築くことにかけての決意の言葉です。この堤防づくりには老若男女を問わず参加し、生きる希望を失いかけた村人に、仕事と生きる力、勇気を与えました。この堤防は、その後の津波にも耐えて人々を守り続け、「自助共助」の精神は今も受け継がれています。

明治以降、濱口梧陵は、国の駅通頭(後の郵政大臣)、故郷では初代県議会議長なども務めました。また私塾「耐久舎」の創設など人材の育成にも尽力しました。近代の幕開けの中で大きな役割を果たした濱口梧陵は、人間愛と郷土愛にあふれた人であり、その生き方から私たちに残したものは、計り知れないものがあります。「11月5日」、時代を経て、濱口梧陵の思いが世界中の人を繋げたのです。子供たちには、津波防災を通じて、濱口梧陵の高い志に触れる機会にしたいと思います。

「24時間子供SOSダイヤル」について



文部科学省では、いじめ問題やその他の子供のSOS全般に悩む子供や保護者等が、いつでも相談機関に相談できるように、都道府県及び指定都市教育委員会が夜間・休日を含めて24時間対応可能な相談体制を整備しています。

24時間

子供SOSダイヤル

なやみ言おう

0120-0-78310

いじめで困ったり、自分や友人の安全に不安があったりしたら、一人で悩まず、いつでもすぐ電話で相談してください。

和歌山県教育委員会事務局 総務課

〒640-8585 和歌山市小松原通1丁目1番地
TEL.073(441)3641 FAX.073(432)4517

和歌山県教育委員会では、今回紹介した内容以外にも、様々な取り組みを行っています。詳しくは、和歌山県教育委員会のホームページをご覧ください。また、皆さまのご意見・ご要望をお待ちしています。

和歌山県教育委員会 [検索](#)



はばたく紀の国 ～教育は今～



放送日時 第1、第3日曜日 10:30～10:50 テレビ和歌山で放送しています。
※すべての番組に手話通訳が付きまます。

今後の放送予定

- 1/15 ●普通科系高校(中高一貫校)におけるキャリア教育
- 2/ 5 ●生きた自然に触れる!～標本作りのススメ～
- 2/19 ●みんな生き生き!学校づくり
～学校経営力・学級経営力向上の取り組みをととして～
- 3/ 5 ●スポーツ好循環の創出とキャンプ誘致
- 3/19 ●「食」を学ぶ!「食」で学ぶ!
～こころもからだも元気な子供を育てる～



定期便 教育の窓



放送日時 第2、第4土曜日 8:45～9:00 和歌山放送で放送しています。

今後の放送予定

- 1/21 ●がん教育について～学校でのがん教育の取り組み～
- 2/11 ●国際人育成プロジェクト
英語によるコミュニケーションが図れる人材を育成するための授業づくり
- 2/25 ●中学生カフェによるこそ
～田辺市生涯学習フェスティバルの取り組みから～

※テレビ・ラジオとも、これまで放送した番組については、和歌山県教育委員会のホームページで公開しています。ぜひ、ご覧ください。